

1 参加者 学校協議会委員 6 名, 校長, 学校事務局 7 名

2 報告概要

① 平成 28 年度学校経営計画 進捗状況

《全体説明》

全HR教室にプロジェクター設置し、授業で活用開始。またそのための研修会も実施。現在、多くの教員が授業等で活用しており、今月には、第2回の研修会も実施します。外部講師による英語講習や阪大生による「学習支援」も実施しており、2学期中間時には、生徒120名ほどが参加しています。

生徒指導では、遅刻指導で新たに「遅刻防止週間」を導入しました。部活動では、1年男子の加入率が下がり、全体としては、85%で、昨年度より2%減となっています。

「診断支援チーム事業」で、グループワークにより学校の強みと弱みを明らかにし、学校経営改善の糧とする研修を実施中です。

必要に応じ、職員会議の機会を利用し、テーマを設定したグループ討議等を行っています。本校では多様な取組みを行っているため、今後は広報活動を強化していきたいと思えます。

また、新規採用教員が増加しているため、人材育成が課題となっています。地域連携では、いろんな場で発表等を行い、生徒の自尊感情が向上し、良い循環となってきています。

《授業研修》

11月第2回目の研修では、教科の枠を超えて、初任者研究授業・アクティブラーニング・ネイティブとのティームティーチング・ダンス授業・子ども園との交流授業等の授業見学をする機会を作ります。期間は11月14日から25日で、最終日に授業見学を受けてグループ討議を行います。

《第1回授業アンケート（7月実施）》

質問項目の平均値が、少しずつですが上昇傾向にあります。記述の回答においては、93.2%の教員が、肯定的意見または、改善要望等を書かれています。現在、それらのデータと各学年教科より出された「分析」を基に学校としての成果・課題・改善方策等を検討中です。

《進路指導》

「スタディ・サポート」（基本的な学習及び生活状態を調べるもの）のデータでは、現2年生は昨年度までの同時期の2年生より学習時間が増加しています。「成績を伸ばしたい」が68%となっており、これは“前向きな方向”と考えられます。

1年生は、まずまずの学習バランスを示しています。第1回スタディ・サポートは、中3時の状態、第2回は高1時のデータです。ただし、1年生も自宅での携帯使用時間が多いことが課題となっています。

いかに進路情報を保護者に伝えるかも課題です。今年度も1、2年生の保護者対象に説明会を行いました。その際のアドバイスにより1年生が進路指導室へ相談に来ました。

自分の能力を高め、志望大学へ合格し、大学でも夢をめざして頑張ることを目標に進路指導をしています。

《生活指導》

遅刻指導は「難しい側面」があり、“自己満足的な指導”とならないよう注意しています。

今年の特徴として、1、2年生は例年より遅刻数が少なく、逆に3年生は多いという状態です。一定期間内に4回、7回、10回遅刻すると、それぞれ個別指導をしています。

今年はさらに遅刻防止強化週間を設定しました。しかし、全体としては他の週とあまり遅刻数が変わりませんでした。3年生に限ると効果があったと思えます。今後この取組みが、実効性のあるものとなるよう検討します。

定期考査時には、近隣住民の方より自転車通学等でクレームがありました。残念ながら自転車通学のマナーは従来通り良くなく、依然として課題となっています。

《行事・部活動》

文化祭は、生徒から例年通りの高評価でした。準備期間が短いと言いながら直前でないと準備に参加しないという傾向がアンケート結果より顕著です。

外来者は年々増加し、昨年より中学生は100名以上増加し、約2000名の方に参加いただきました。なお、体育大会は一般公開していませんが、750名の方の来校がありました。

《広報活動等》

メールマガジンは、週1回送信を基本に、学習や進路、部活動、行事などの各種情報を保護者の方にお伝えしております。現在、約1600件の登録があります。

昨年までは、土曜日の午前中に授業をし、その午後に「オープンスクール：全体説明会・部活見学・体験授業・保護者対象説明会」を実施していました。今年度は土曜日の午前から「部活動見学」、午後から「オープンスクール：全体説明会・部活見学・保護者対象説明会」を実施しました。形式が異なるので、直接比較できませんが、昨年度より中学生の参加者が約100名減少しました。

《地域連携》

例年の連携行事（公民分館・刀根山自治会等）以外に「刀根山・里山活用プロジェクト」の一環で、11月20日に地域の方々と希望生徒で「芋煮会」を実施予定です。

これにより、従来の部活中心の連携だけでなく、一般生徒も巻き込んで地域連携を進めることとなります。

《学校教育自己診断》

現在実施中です。次回協議会には、数値データ等をお示しします。

② 学校経営推進費事業：「刀根山・里山活用プロジェクト」

本プロジェクトは、3年計画で、多くの本校生が裏山の環境保全活動や防災活動などへの取り組みを通して地域の人々や大学などとの交流を深め、その活動を通して様々な学問への興味や進路意識を高めることをめざしています。

現時点では、裏山のスロープの改修や清掃用具、かまど等の購入が終了。今後、案内マップ作成や樹木プレート設置を行っていきます。

また、11月20日の上記「芋煮会」後に「植物の調査」を、11月27日に「昆虫(ハチ)の調査」を大学教員や大学生と行い、高大連携を進めていきます。

これらの取り組みで、地域の大人や子供そして大学生等と本校生が「斜めの関係」で接し、その中で色々な刺激を受け、自尊感情や進路意識を高めていく計画です。

3 協議概要

《自宅学習時間等》

Q：「スタディ・サポート」で「自宅学習ほとんどなし」という生徒は、1、2回目とも同一生徒たちですか。

A：大体は同一生徒と思われます。しかし、部活が忙しくなり、勉強が手薄になった者もいます。成績と自宅学習時間とは、基本的にリンクしています。

Q：自宅での過ごし方は、やはりTVとスマホ・携帯ですか。

A：今の生徒はあまりTVを見ません。スマホ・携帯がほとんどです。中学校でも同様な傾向です。

Q：中学では、高校受験が近づくと目標を失う生徒が若干出りますが、高校ではどうですか。またどのような指導をされていますか。

A：「何をしたいか分からない」生徒への指導は、じっくり時間を取り、個々人の状況に応じて相談に乗る形です。なかなか難しいですが。

担任には、丁寧な生徒観察、対応をお願いしています。

保護者の要望と生徒本人の希望との差に悩んでいる面はあります。また、プレッシャーに弱い生徒が多いです。いろんな道、選択肢があることを生徒に示していくことが、大事だと思います。

《授業改善》

Q：「授業を改善してほしい」と生徒から言われている教員は、分かっているのでしょうか。

A：その教員自身と管理職とは分かっています。真摯に受け止め、対応してほしい問題です。その授業時間のポイント、要点をはっきりと生徒に示すと、より良い結果が出ると思います。

また、授業している教員の思いと生徒の受け取りに差が生じることもあります。

《自転車通学マナー等》

Q：今朝、自家用車に乗っていて、思わず自転車通学の生徒にクラクションを鳴らしました。朝、ギリギリで登校しようとする生徒が多々いるのも問題だと思います。法律が変わって、自転車も責任をより大きく問われる時代です。より強く自覚を高めてほしい。

A：大学でも自転車マナーがひどいです。警察に直接危険個所で指導してもらっています。

A：176号線などで歩道と車道で並走しながらしゃべっている自転車は、信号無視することもあります。

交通マナー指導は、年度始めには校内で行っています。警察との協力も今後、検討していく必要があるかもしれません。

《生活課題抱えた生徒等》

Q：生徒がいろんな生活課題を抱えていることと家庭学習時間が短いことや進路目標を持ってない等とはリンクしていますか。

A：どれだけリンクしているかは、個人情報との絡みがあるので、詳細は分かりません。福祉などの各方面と連携しないと、対応できない事もあります。

《地域連携》

少しずつ地域での刀根山高校、裏山の存在感が大きくなっています。感謝しています。

府立高校なので、当初は「敷居が高い」と思っていました。でもお願いしてみたら意外と協力的に地域連携を進めていただき、地域としては助かっています。

《その他》

学校として、「国際交流」を検討中です。

次回、第3回協議会

1月23日(月) 午後3時30分～